

■6月21日

高松空港、民間委託を検討、民活空港法成立を受け

国や地方自治体が管理する空港の運営を民間に委託できるようにする民活空港運営法が19日、参院本会議で可決、成立したことを受け、県は19日の6月定例県議会総務委員会で、国が管理する高松空港の民間委託を検討するため、県が主体で調査を始めることを明らかにした。

調査費は全額国庫補助の1500万円。資産価値や運営委託の方法などについて調査する。これとは別に国が実施する調査の結果と併せて、国と協議を重ねながら、民間委託が可能かどうか検討を進める。

尚同法案に対して、宮城県などが国管理の仙台空港の民営化を希望、運営に意欲を見せる企業もある。国はモデルケースと位置付けており、2015年度にも第1号として委託が実現する見通した。このほか、香川県が高松空港、広島県が広島空港について検討中。

(四国新聞)6/20

http://www.shikoku-np.co.jp/kagawa_news/administration/20130620000179 (-> http://www.shikoku-np.co.jp/kagawa_news/administration/20130620000179)

新千歳空港、5月、国際線旅客数、前年同月比9%増

東京航空局新千歳空港事務所が20日発表した5月の新千歳空港の国際線旅客数は、前年同月比9%増の8万3290人だった。香港や台北路線が好調で、増加は4カ月連続となる。昨秋に定期便が就航したバンコク路線やホノルル路線も需要を押し上げた。

路線別では最も利用者の多い台北が3万149人と2%増えたほか、香港は34%増の1万2159人と伸びが目立った。これに対し、ソウル線は7%減の2万711人と戻りきっていない。バンコク線は8865人と4番目に利用が多く、ホノルル線は3849人だった。

一方、国内線の旅客数は10%増の141万2141人と、15カ月連続で増えている。格安航空会社(LCC)が相次ぎ就航した成田線や中部線の伸びが目立った。

(日経)6/20

http://www.nikkei.com/article/DGXNASFC2000R_Q3A620C1L41000/ (-> http://www.nikkei.com/article/DGXNASFC2000R_Q3A620C1L41000/)

全日空、広島・岩国空港、国内航空券、マルチエアポート対応

全日空は20日、同年8月22日より、広島空港・岩国空港発着の国内線航空券で、相互利用(マルチエアポート対応)を開始すると発表した。

これにより、「広島発羽田行き」、「羽田発岩国行き」といった2空港にまたがる旅程にて、往復運賃やビジネスきっぷが利用でき、予約変更が可能な航空券であれば、「羽田発岩国行き」の航空券を「羽田発広島行き」へ変更することも可能となる。

尚対象となる航空券は、ANA国内線航空券。

(ANAプレスリリース)6/20

http://www.ana.co.jp/pr/13_0406/13-057.html (-> http://www.ana.co.jp/pr/13_0406/13-057.html)

観光庁、ジェットロなど、海外見本市など共同開催

観光庁と経済産業省、日本貿易振興機構(ジェトロ)、日本政府観光局は20日、訪日外国人客の取り込みに向けた共同行動計画を発表した。

個別に開くことが多かった海外見本市や旅行博を合同にすることが柱。共催件数を2013年度に50件と前年の7倍に増

やす。日本の特産物や文化の体験と観光地を同時に紹介し、集客力の底上げにつなげる。

(日経)6/20

http://www.nikkei.com/article/DGXNASDF2000P_Q3A620C1EE8000/ (->
http://www.nikkei.com/article/DGXNASDF2000P_Q3A620C1EE8000/)

スカイマーク、エアバスA330、フライト・シュミレーター、8月から稼働

(aviationwireによると)

スカイマークは20日、2014年1月に初号機を受領予定のエアバスA330-300型機用フルフライト・シミュレーター(FFS)を、今年8月から稼働させることを明らかにした。

FFSはカナダCAE社製。SKYによると、国土交通省航空局(JCAB)による最終的な承認は7月になる見込みで、8月から運航乗務員の訓練に使用するという。それまでは仏トゥールーズのエアバス本社で訓練を行う。

A330は3月下旬から福岡線を皮切りに羽田発着の幹線に投入。271席全席が上級クラス「グリーンシート」(仮称)で、JALの「クラスJ」と同等のシートピッチとなる。14年1月から15年にかけて計10機を受領予定。

尚同日、同社は、マイレージサービスを2014年1月に導入する意向を明らかにした。

(aviationwire)6/20

<http://www.aviationwire.jp/archives/22251> (-> <http://www.aviationwire.jp/archives/22251>)
<http://www.aviationwire.jp/archives/22191> (-> <http://www.aviationwire.jp/archives/22191>)

日航、JR東日本、イオンなど9社の株式取得

日航が 20日に関東財務局に提出した有価証券報告書によると、2013年3月期に東日本旅客鉄道(JR東日本)やイオンなど9社の株式を取得したことが明らかになった。いずれも市場で購入し、前期の貸借対照表での計上額は合計133億円。

オリエンタルランドや東京急行電鉄、三越伊勢丹ホールディングス、日本通運などの株式も購入。JR東日本とは海外旅行で、イオンとはマイル交換で協力関係にある。イオンも日本航空に出資している。

(日経)6/20

<http://www.nikkei.com/article/DGXNZO56442710Q3A620C1DT0000/> (->
<http://www.nikkei.com/article/DGXNZO56442710Q3A620C1DT0000/>)

スカイマーク、A330 型機導入計画

スカイマークはA330-300 型機を10 機発注していて2014 年1 月末に初号機を受領する予定で、2015年3 月までに合計6 機の導入計画を明らかにした。

A330 型機の2 号機を2~3 月に受領し、2013年度内に2 機体制とする。
2014 年8 月~2015 年3 月頃に3 号機~6 号機を受領する予定。

A330 型機の機内仕様は、従来よりもゆったりとした“グリーンシート”を採用、モノクラス・271 席仕様とする計画。

スカイマークはA330 導入後、羽田~福岡線、那覇線、札幌線等、羽田発着の幹線へ順次投入を予定している。

2015 年3 月期時点では、同社の羽田路線旅客数の4割程度がA330型機による輸送を計画している。

同社では、羽田路線全体におけるスカイマークの旅客シェアを2013 年3 月期実績の14%から2016 年3 月期には19%に拡大させる計画だ。

日刊航空 <http://www.da-news.co.jp/> (-> <http://www.da-news.co.jp/>)

IBEXエア、2013年3月期決算

アイベックスエアラインズは6月20日、2013年3月期決算を発表した。

事業収益は112億2,900万円(前期比27.2%増)、営業利益が3億7,700万円(2012年3月期は5,300万円の赤字)、経常利益は前期の2.7倍にあたる5億0,700万円(前期比171.5%増)、当期純利益は同約3.4倍で過去最高益となる5億6,600万円(同243.2%増)を計上、増収大幅増益を達成した。

同社は2012年7月に4機目のCRJ-700NG型機を導入して新路線の開設と既存路線の再編を行った。

また、2013年2月に5号機を導入して4機あるCRJ-100/200型機のうち1機を予備機として運用している。

日刊航空 <http://www.da-news.co.jp/> (-> <http://www.da-news.co.jp/>)

JTA2013年5月、利用率4.1pt上昇

日本トランスオーシャン航空(JTA)は、2013年5月の輸送実績・速報値を発表した。

月間旅客数は前年同月比6.7%増の23万0,339人、利用率は前年同月比4.1ポイント上昇の71.4%(前年同月67.3%)になった。

本土～沖縄(県外)路線の月間旅客数は前年比22.8%増の13万3,793人。
沖縄県内路線の月間旅客数は前年同月比8.5%減の9万6,546人となった。

日刊航空 <http://www.da-news.co.jp/> (-> <http://www.da-news.co.jp/>)

ボーイング社、ボーイング737MAX、納入を前倒し

ボーイングは19日、単通路型旅客機「737マックス」の納入を最大6カ月前倒し、米サウスウエスト航空に座席数162席の「737マックス8」初号機を届けるのは2017年7-9月期になると発表した。これまでは17年末が予定されていた。

ロイターによると、ボーイングのスコット・フランチャー副社長(航空機開発担当)はパリ国際航空ショーで記者会見を開き、前倒しは737マックスの設計・製造での進展を反映したものだと言明した。当初のスケジュールは余裕を持って組んであったという。フランチャー氏は「計画を前倒しするのが適切だ」と述べた。

スケジュールを早めることで、欧州航空・防衛大手EADS [EAD.FR](http://jp.wsj.com/public/quotes/main.html?type=djn&symbol=EAD.FR?mod=inlineTicker)-1.96% (-> <http://jp.wsj.com/public/quotes/main.html?type=djn&symbol=EAD.FR?mod=inlineTicker>)傘下のエアバスが15年10月から納入開始予定の「A320neo」との差も縮められる。

(ロイター)6/20

<http://jp.wsj.com/article/SB10001424127887324438704578555930407214510.html> (-> <http://jp.wsj.com/article/SB10001424127887324438704578555930407214510.html>)

ライオンエア(LCC)、ボーイング737-800、175機購入

ライオンエアは、ボーイングから、175機の次世代737-800航空機を購入する契約を締結した。契約総額は表示価格で156億ドル。

レスポンスによると、パリ航空ショーで行われた契約署名式典では、ライオンエアの社長兼CEOであるマイケル・オリアリー氏と、ボーイングの商用航空機の社長兼CEOのレイ・コナー氏が出席した。「737-800は安定性と素晴らしいエンジニアリングを持ち、当社の成長の基礎である。これらの175機の新しい航空機は、我々にコストと航空運賃をさらに下げることが可能にする」とオリアリー氏は語った。

ライオンエアは1999年に最初の737-800の納入を受け、現在はヨーロッパで最大のボーイングユーザーとなっている。57の飛行場から1日に1600以上のフライトをこなし、29の国々に渡る1600のルートと180の目的地を繋いでいる。

(レスポンス)6/20

<http://response.jp/article/2013/06/20/200496.html> (-> <http://response.jp/article/2013/06/20/200496.html>)

エアアジア(LCC)、SKYTRAX社、5年連続、LCC部門1位、PEACH はアジア部門で8位

スカイトラックス(SKYTRAX)社による2013年、「THE WORLD'S BEST AIRLINES」のローコストエアライン(LCC)部門で、エアアジアが5年連続で1位となった。

また、PEACHは、アジアLCC部門で8位にランクインした。

(SKYTRAX HP)6/21

http://www.worldairlineawards.com/Awards_2012/lowcost2012.htm (->

http://www.worldairlineawards.com/Awards_2012/lowcost2012.htm)

http://www.worldairlineawards.com/Awards_2013/regionaliasia.htm (->

http://www.worldairlineawards.com/Awards_2013/regionaliasia.htm)



2013年 世界のベストLCC10

a.png

Portable Network イメージフォーマット [11.5 KB]

[ダウンロード](#)



2013年 アジアのベストLCC10

b.png

Portable Network イメージフォーマット [26.2 KB]

[ダウンロード](#)

EU、デルタのヴァージン・アトランティック株取得承認

(WSJによると)

欧州委員会は20日、英ヴァージン・アトランティック航空にデルタ航空とヴァージン・グループが共同で出資する計画を承認した。

デルタ航空は、これまでシンガポール航空が保有していたヴァージン・アトランティック航空の49%株を取得する。ヴァージン・グループはこれまで通り51%株を維持する。さらにデルタ航空とヴァージン・アトランティック航空は、英国・北米間路線の共同運航に向けた合弁会社を設立。

(WSJ)6/21

<http://jp.wsj.com/article/SB10001424127887324438704578557953257465398.html> (->

<http://jp.wsj.com/article/SB10001424127887324438704578557953257465398.html>)